

UURR 交流訪問団が大連理工大学を訪問
「大連理工大学・岩手大学国際科学技術・産業交流会 (RIT 事業・UURR プロジェクト)」を開催

岩手 UURR ものづくり産業連携推進協議会^{注)} (団長：大野眞男岩手大学理事・副学長) が、2007 年 11 月 26 日 (月) から 12 月 1 日 (土) の 6 日間、中国遼寧省大連市を訪問し、大連理工大学において開催された「大連理工大学・岩手大学国際科学技術・産業交流会 (RIT 事業・UURR プロジェクト)」に出席し、研究者交流及び両地域の企業間交流を行いました。あわせて、大連企業の視察等を行いました。

なお、今回の大連理工大学との UURR 交流活動は、日本貿易振興機構 (JETRO) の地域間交流支援 (RIT) 事業の採択を受けて実施したものであり、同機構盛岡貿易情報センター若林康平係長が同行し、現地での活動において、同機構大連事務所の支援を得ました。

訪問の概要は、以下のとおりです。

「大連理工大学・岩手大学国際科学技術・産業交流会 (RIT 事業・UURR プロジェクト)」(写真) において、冒頭、大連理工大学 寧桂玲副学長より挨拶がなされ、大連理工大学と岩手大学の交流はすでに 26 年の長きにわたっており、2006 年には「大連理工大学・岩手大学国際連携・技術移転センター」を設



立するなど、ハイレベルの科学技術交流を行ってきていること、大連理工大学及び岩手大学の双方の努力のもと、大連市と岩手県の協力を得て、今回の交流会が成功することを祈念するとの歓迎挨拶が行われました。

これに対し、交流団長の岩手大学大野眞男副学長・理事より、大連理工大学、大連市、日本 JETRO 大連事務所及び参集した大連企業に謝辞が述べられ、併せて岩手大学は、大連理工大学に比して規模は小さいものの産学連携に特徴のある大学として日本国内で有名である等の紹介が行われました。続いて、来賓を

代表し、JETRO 大連事務所 藤原弘所長及び大連市科学技術局・知識産権局 姜運政副局長より、それぞれ挨拶がなされました。

以上の挨拶に引続き、大連理工大学の鄭学峰科技処副主任より「産・学・研の結合、企業イノベーションと人材育成」と題する講演が行われ、大連理工大学の産学連携の取組み及び人材育成の方式等について詳細な説明がなされました。

最後に、岩手大学小野寺純治教授より、岩手大学及び岩手の産業についての紹介が行われ、併せて交流会に参加している岩手企業等の紹介を行いました。

上記の全体会終了後、 鋳造グループ、 金型グループ、 ITグループに分かれて、分科会を開催し引き続き討論したほか、訪問期間中、大連企業の視察等を行いました。

本学及び協議会は、RIT 事業としてこれまでにものづくりの基盤技術である鋳造、金型、ITの3分野を中心に、勉強会（セミナー）の開催、専門家の大連派遣、大連企業の岩手地区への招聘を行ってきたところであり、今回本年度のRIT事業の集大成として、23名からなる交流訪問団を大連に派遣し、大連理工大学及び大連地区企業とのUURR 交流活動を実施することができました。

このように、2007年度のRIT事業の採択により、岩手大学UURR 交流活動の展開は一層の弾みがついてきたものといえるでしょう。

注) 岩手UURR ものづくり産業連携推進協議会は、岩手地域と大連地域の産業交流を目的に設立された、北上川流域の企業等及び岩手県、岩手大学、岩手県工業技術センターからなる組織です。